

令和4年度岡山県農林水産総合センター

生物科学研究所試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	R4-1						
課題名	県産農作物の効率的育種技術の開発と新品種育成						
課題の概要	ブランド力強化に向けた効率的モモ育種システムの開発研究及び青枯病強度抵抗性ナス科作物の開発研究を行う。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	人	4人	1人	人	人	3.8
	有効性（効果）	人	3人	2人	人	人	3.6
	有効性（目的以外の成果）	1人	2人	2人	人	人	3.8
	効率性・妥当性（費用対効果）	人	3人	2人	人	人	3.6
	効率性・妥当性（計画）	1人	3人	1人	人	人	4.0
	成果の活用・発展性	人	4人	1人	人	人	3.8
	総合評価	人	5人	人	人	人	4.0
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> 岡山特産の桃の特徴を活かした基礎データが得られている。 現場とのつながりを大事にして進めており、それをさらに進めるとともに、その点を消費者などにわかりやすく説明されたい。 新品種育成にはアイデアと時間・お金がかかり、またその普及には岡山県としてのマーケティング力が問われる。 マーカー育種の実用化を期待している。 						

令和4年度岡山県農林水産総合センター

生物科学研究所試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	R4-2						
課題名	県下をはじめ世界の人々に貢献するグルタチオン農業の確立を目指した基礎基盤研究						
課題の概要	グルタチオン施用によって実利的なバイオマス増産技術の確立のための計画を遂行し、かつその施用によってもたらされる品質の向上性の安定化によってブランド農作物の生産方法に関する研究開発を行う。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	人	4人	1人	人	人	3.8
	有効性（効果）	1人	3人	1人	人	人	4.0
	有効性（目的以外の成果）	人	4人	1人	人	人	3.8
	効率性・妥当性（費用対効果）	人	4人	1人	人	人	3.8
	効率性・妥当性（計画）	人	4人	1人	人	人	3.8
	成果の活用・発展性	1人	4人	人	人	人	4.2
	総合評価	人	5人	人	人	人	4.0
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果が大きい良い成果が得られている。 ・現場での成果がたくさん蓄積されており、それを広報して利用拡大につながることを期待している。 ・今後より注目されるであろうバイオスティミュラント資材の一つと思われることから、具体的な成果がより大きくなることを期待する。 ・グルタチオン効果に関して科学的裏付けがあると、もっと説得力が増すのではないか。 						

令和4年度岡山県農林水産総合センター

生物科学研究所試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	R4-3						
課題名	革新的植物活力向上技術の開発研究						
課題の概要	植物自身が備えている防御システムを活性化して病害を防除する環境低負荷型の病害防除法として、病害抵抗性誘導資材及び技術の開発、植物の活力を高める資材であるバイオスティミュラントの開発及び最新のゲノムツールを利用した病害抵抗性作物の育種を行う。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	1人	4人	人	人	人	4.2
	有効性（効果）	人	5人	人	人	人	4.0
	有効性（目的以外の成果）	1人	4人	人	人	人	4.2
	効率性・妥当性（費用対効果）	人	5人	人	人	人	4.0
	効率性・妥当性（計画）	人	5人	人	人	人	4.0
	成果の活用・発展性	人	5人	人	人	人	4.0
	総合評価	1人	4人	人	人	人	4.2
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員が少ない中で効率よく研究し多大な成果を出されている。 ・ バイオスティミュラントの開発発展が、健全に進むことを期待している。 ・ 商品化されたが、流通面で全農・JAルートのみでは問題があるのではないか。 ・ 多くの成果が実用化されており、さらなる実用化を期待する。 						

令和4年度岡山県農林水産総合センター

生物科学研究所試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番 号	R4-4						
課題名	農作物の機能性探索研究						
課題の概要	県特産農産物（黄ニラ）の機能性研究（抗酸化増強・歯周病予防作用機序の解明及び活性分子の同定）を行う。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	人	3人	2人	人	人	3.6
	有効性（効果）	人	2人	3人	人	人	3.4
	有効性（目的以外の成果）	人	5人	人	人	人	4.0
	効率性・妥当性（費用対効果）	人	3人	2人	人	人	3.6
	効率性・妥当性（計画）	人	3人	2人	人	人	3.6
	成果の活用・発展性	人	3人	2人	人	人	3.6
	総合評価	人	3人	2人	人	人	3.6
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な基礎データが得られている。 ・製品化に向けてさらなる進展を期待している。 ・今後も岡山県の作物の良さを追求する研究が続けられることを期待している。 ・現代の健康志向にあった商品開発につながるように期待している。 ・黄ニラの効果が広く応用されることを期待している。 						